



度会町子育て支援センター情報誌

わたっこ通信 2月号

令和8年 1月15日発行



寒い日が続きますが、冬晴れのひなたは、風が吹かなければ
ほっこりして、ぽかぽか暖かいですね。お子さんと一緒にひな
たぼっこをして身も心も温まりたいですね。



2月の行事予定



13日 (金)	子育て支援教室「親子でリトミック！」 10:30~11:30
19日 (木)	遊・友・YOUくらぶ (ひよこ・うさぎ) 10:30~11:30
25日 (水)	わたっこBabyひろば 育児相談 (予約制) 10:30~11:30



※子育てに関するご相談がありましたら、
お気軽にご相談下さい。

TEL0596-63-0070【秘密厳守】



節分の豆知識

*節分とは？

「季節を分ける」という意味で、寒い冬から暖かい春への季節の変わり目を祝う日です。昔から邪気を
払って新しい年を良い年にしようと、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをします。子ども向けに
は、「悪い鬼を追い出して、元気に春を迎えようね」と伝えると良いでしょう。

*どうして節分には鬼をやっつけるの？

季節の分け目には、悪いもの(邪気)が現れやすいとされていて、その「悪いもの」の象徴が「鬼」なの
だそう。実は、もともと鬼の姿は決まっておらず、見えない悪いものを「鬼」と呼んでいて、いろんなお
話を通じて、だんだんと今の姿になっていったのだそうです。

*どうして節分に炒った豆をまくの？

悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、豆まきをします。豆まきの大豆には、た
くさんの栄養が含まれているので、鬼を追い出すパワーが詰まっているそうです。また、芽が出て追い出
したはずの悪いもの(鬼)が育たないように、炒った豆を使うそうです。



子育て支援教室「親子でリトミック！」

リトミックは、音楽のリズムにあわせて体操や手遊びを行うため、基礎体力の向上や反
射神経などの運動能力の発達に期待でき、音楽の変化に合わせて体を動かすので、集中力
を養うことができます。皆さまこの機会に是非ご参加ください。

開催日時：2月13日(金) 10:30~11:30

開催場所：町子育て支援センター

対象：1歳以上のお子さんと保護者 10組程度

持ち物：お茶等の飲み物

その他：動きやすい服装でお越しください。

申込期間：1月8日(木)~1月29日(木)

申込先：町子育て支援センター ☎63-0070



12月のわたっこ広場に遊びにきてくれたお友だちです



わたっこBabyひろばのクリスマス会の様子



遊・友・YOU
くらのクリスマス会の様子

12月も寒い中、お友だちが元気いっぱい遊びに来てくれました♡

子育て支援センター利用のみなさまへ

寒さが増し、感染症が流行する季節です。

感染拡大予防のため、

・発熱した当日と翌日（出停期間中）

・咳症状があるとき

・発疹が出ているとき

・下痢症状があるとき

お子さまおよび保護者の方に上記症状がみられたり、体調不良の場合は、利用をお控え下さい。またお越しになられた際は、遊ぶ前に必ず手洗いを行って下さい。皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。



鼻水が出る原因

子どもの鼻水は、どうして出るのでしょうか。その原因には、次のようなものがあります。

①アレルギーによる反応

鼻水の原因のひとつは、アレルギー反応によるものです。ハウスダストや花粉、ホコリなどが子どもの鼻の粘膜を刺激すると、鼻腔内に炎症が起き、アレルギー反応として鼻水が出ます。また、子どもの体はデリケートなので、温度差などで鼻水が出ることもあります。

②ウイルス感染

子どもは、まだ鼻毛がほとんど生えていない状態です。そのため、細菌やウイルスが体の中に入りやすくなっています。細菌やウイルスによって鼻の粘膜が刺激されることで鼻水が出たり、風邪の症状のひとつとして鼻水が出てしまうこともあります。また、まだ風邪の抗体も少ないので、生後6ヶ月頃から風邪を引きやすくなります。

子どもの鼻水を放置しておくとうなる？

①鼻が詰まる

鼻水を取り除かずそのままにしておくと、鼻が詰まってしまうます。子どもの鼻腔はとても狭く、少量の鼻水でもふさがってしまうからです。そのため、鼻が詰まると呼吸がしづらくなったり、ミルクがうまく飲めなくなったり、食事が食べづらくなることがあります。

②眠れなくなる

子どもは、基本的に鼻呼吸をしていて、口での呼吸はまだうまくできない状態です。

子どもの鼻水の原因と特徴について

鼻水をそのままにしておくと息苦しい状態になってしまい、眠れなくなったり、眠りが浅くなります。口呼吸になるので、喉が痛んでしまうこともあります。

③病気を誘発

鼻水を放置することで、「中耳炎」や「副鼻腔炎」、「後鼻漏（こうびろう）」などの病気を誘発してしまう可能性もあります。

乳幼児の鼻水の特徴と考えられる原因

①透明でサラサラ

鼻水は元々透明色で、色がついていません。子どもの鼻水の多くは透明色で、風邪をひくと色が付くようになります。風邪の初期である急性鼻炎をはじめ、アレルギー性鼻炎の症状としてみられます。

②粘り気があり黄色や緑色

急性鼻炎をきっかけに鼻粘膜の炎症が起こると、集まってきた白血球が細菌やウイルスを取り込み死滅します。そのため風邪を引いてからしばらく経過すると、透明だった鼻水が黄色に変化することもあります。さらに、副鼻腔炎の膿として、黄色い鼻水が出ることもあります。この膿には、大量に増殖・死滅した細菌、細菌を取り込んで死滅した大量の白血球、細菌から出された毒素などが含まれています。

お家での対処法として、乾燥は大敵なので部屋を加湿して、鼻水を流しやすくしましょう。